

様式第六（第二十一条の二第一項、第二十三条第一項関係）

一定の規模以上の土地の形質の変更届出書

年 月 日

古河市長 殿

届出者

第3条第7項  
 第4条第1項  
 土壤汚染対策法の規定により、一定の規模以上の土地の形質の変更について、次の

とおり届け出ます。

土地の形質の変更の対象となる土地の所在地		
土地の形質の変更の場所		
土地の形質の変更の対象となる土地の面積及び当該土地の形質の変更に係る部分の深さ		
土地の形質の変更の着手予定日		
法第3条第1項のただし書の確認を受けた土地において法第3条第7項の規定による土地の形質の変更をする場合	工場又は事業場の名称	
	工場又は事業場の敷地であった土地の所在地	
現に有害物質使用特定施設等が設置されている工場又は事業場の敷地において法第4条第1項の規定による土地の形質の変更をする場合	有害物質使用特定施設が設置されている工場又は事業場の名称	
	有害物質使用特定施設の種類の	
	有害物質使用特定施設の設置場所	
	特定有害物質の種類	

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

一定の規模以上の土地の形質の変更届出書

年 月 日

古河市長 殿

届出者 ○○県△△市××1234  
株式会社□□ 代表取締役◇◇ ◇◇

土壤汚染対策法第3条第7項の規定により、一定の規模以上の土地の形質の変更について、次の第4条第1項とおり届け出ます。

該当する条項を囲む

土地の形質の変更の対象となる土地の所在地	茨城県古河市○○字△△ □□番地×× 外◇筆	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象地の地番すべてを記入。</li> <li>地番すべてを書ききれない場合は「別紙参照」とし、別紙で一覧を添付する。</li> <li>河川や道路等、地番がない場合は「○○地先」等でも可。</li> </ul>	
土地の形質の変更の場所	同上または地番を全て記入する	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>添付する平面図等には試料番号を記入する。</li> </ul>	
土地の形質の変更の対象となる土地の面積及び当該土地の形質の変更に係る部分の深さ	面積○,○○○㎡ (掘削△,△△△㎡、盛土□,□□□㎡)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>合計だけでなく、掘削、盛土の面積を記入する。</li> <li>工事の途中で一度でも掘削(50cm未満の掘削や表土を削る行為を含む)を行う箇所は掘削面積に入れる。</li> </ul> 最大掘削深さ( )m	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>形質変更の最大となる深さを記入</li> </ul>	
土地の形質の変更の着手予定日	○○年△△月□□日	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>必ず届出日から30日以上後の日付け。</li> </ul>	
法第3条第1項のただし書の確認を受けた土地において法第3条第7項の規定による土地の形質の変更をする場合	工場又は事業場の名称	(該当がある場合記入する) ○○株式会社 △△工場
	工場又は事業場の敷地であった土地の所在地	(該当がある場合記入する) ・法第3条第1項のただし書きの確認を受けた土地のすべての地番を記入。
現に有害物質使用特定施設等が設置されている工場又は事業場の敷地において法第4条第1項の規定による土地の形質の変更をする場合	有害物質使用特定施設が設置されている工場又は事業場の名称	(該当がある場合に記入する。以下の欄について同じ) ○○株式会社 △△工場
	有害物質使用特定施設の種類	電機めっき施設
	有害物質使用特定施設の設置場所	別紙○のとおり
	特定有害物質の種類	六価クロム化合物

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。  
2 氏名（法人にあっては、その代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができる。